

高松市生涯学習センター 生涯学習推進事業（センター利用促進事業）

「苔玉作り教室」を開催しました。

平成 29 年 12 月 14 日（木）、谷 数義さんを講師に迎え、「苔玉作り教室」を開催しました。

主な準備物は、植物（今回はヤブコウジ）・ケト土・赤玉土（小粒）・水苔・糸・はい苔・ゴム手袋、ラップです。

まず、ケト土、赤玉土（小粒）、水苔（小さく刻んだもの）に少しずつ水を加え、耳たぶくらいの硬さになるまでよくこね合わせます。植物をポットから取り出し、上部や底の土を落として丸く固めておきます。



次に、最初こね合わせた土をラップの上に薄くのばします。その上に植物を置き、ラップごと根っこを土で丸く形を整えながら覆います。この時、しっかりと土を固めておかないといけません。思っていたよりも丸く形を整えるのが難しいようで、講師に何度も確認をされている受講者もいました。

丸く形が整ったら、その土の表面に綺麗な苔面が出るよう、はい苔をしっかりと張り付けます。よく苔をのばしておかないと、張り付けたときにしわになりやすいそうです。

苔を張り付けたら、苔玉を持ち、親指で糸の端を押さえます。そして、糸を底面から上部へ向けて斜めにきつく巻きつけ、苔玉を少し回して苔が取れないように、全体をぐるぐると巻いていきます。巻き終わったら、糸の端は苔玉の中に押し込みます。この工程が、受講者が一番苦戦しているようでした。糸が透明であったため、巻きつけていくうちに、どの部分を巻きつけていないか分かりづらくなったようです。



糸を押し込んだら、これにて苔玉の完成です。受講者は終始楽しそうに自分の苔玉を作成していました。苔玉は出来上がってからの管理が難しいようで、一番良いのは木漏れ日が当たる環境においておくことだそうです。なるべく自然に近い状態で育てることが長持ちする秘訣とのことでした。一生懸命作成した苔玉は、これから愛情を持って育てられることでしょう。